

佛門普勸方等之部

万治三子年三月

一 泚城近色泚門番人数之是書

大和泚門

一 馬上九人内番取人 一 枪侍 二人

一 弓 拾張 呈候十人 一 旗炮 此拾提 呈候 十人

一 强 此拾中 同十人 一 批控 二十

首白沙乳日手 老人教一倍 番

但中同士 之 存 乃 之 在 以 之

内振田泚門

一 馬上七人 内番取人 一 枪侍 武人

一 弓 拾張 且燈十人  
一 旗 拾本 中間十人  
一 旗 拾本 且燈十人  
一 旗 拾本 且燈十人

若江白湯礼日も乃々人教一儀  
但中間も乃々色も取居くは也

外堀田 御門  
和回余

一 馬上 三人  
一 弓 六張  
一 長柄 拾本  
一 弓 六張  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本

一 挑燈 八

以上

御治儀 御門  
具膳儀

一 侍 八人  
一 弓 六張  
一 長柄 拾本  
一 弓 六張  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本  
一 旗 拾本  
一 挑燈 六

寛文二宮年

見

一 浅草橋御門 一 年邊御門 一 市谷御門  
 一 日尾御門 一 赤坂御門 一 山下御門  
 一 上虎御門 一 幸橋御門 一 筋違橋御門  
 一 小石川御門  
 右新御門よりして紫馬堂を馬の外小者中間  
 百姓よりして馬場の西よりして法善寺東に  
 下馬いこせそと世馬より月を馬場の西よりして  
 中合とや

十月

延宝八申年

見

一 馬場先御門 一 外橋田御門 一 和合御門  
 右二ヶ所の御門自今以後下り小成り方おは多  
 時分には従目付如く御門の内へ  
 清和丸のときく侍等五人御堂の外へ入る御門  
 庭敷より西へも御堂中人馬佐た具不可  
 庭に出入り

十月

下馬より下乗まで百連信者見  
一侍六人 或五人 一六人 口人  
一後輩持二人 一系履一人  
一白天の時小笠持一人  
右へ通つて魚一紙 師匠の圓持大名世人教へ  
不つて魚一見

十月

延宝八申年

見

和国倉法門小多引く者下馬不仕前との  
〜〜〜但法礼日平外出仕御身  
時分七法流目付下馬〜〜〜斗兵今〜通  
下馬不仕也

十月

馬場先法門

外様田法門

右紙より同文を在り

元禄五年

- 一 外橋田一馬場先出門一和田倉一清水出門
- 一 竹橋一稚子橋一三橋一神田橋
- 一 常盤橋一吳厩橋一泷原橋
- 一 数寄屋橋 一日比谷出門

右の出門堂六時より酒肆と相見へりとのハ  
 一糸肉の中より及り若出門の内屋敷より  
 向く主家より其屋敷門番近送り了  
 中着也

六月

宝永三年

御清々若大寺内橋田西丸大寺其外  
 御通筋御門番勤之是

一 紅葉山

御宮 御系清々 御名代日光  
 御清 御系清々 御名代日光  
 内より腹穢改時大寺内橋田御門番勤之者  
 相勤不若事

一 御堂 御系清々時大寺内橋田御門番勤之者  
 御清々時大寺内橋田御門番勤之者

大子之遊書より 助りて相勤事  
 一 山王 浄系清之時 西凡大子 浄門書と為人  
 後釋とて 浄系凡大子 内様田派書より  
 助りて相勤事  
 一 右之介 浄通節と 浄門書と為人 腹之時  
 正之方 浄門書と相勤事  
 一 大納言 浄系清之時 西凡大子より  
 内之方 浄門書と相勤事  
 浄系相勤事 浄系清之時  
 一 大納言 浄系清之時 浄門書と相勤事

浄系清之時 西凡大子 浄通節と為人  
 腹とて 浄系清之時 相勤事  
 以上  
 正月

宝永六年  
 竹橋浄門 清水浄門 田安浄門  
 紅系浄門  
 右之方 明正日より 浄系  
 浄系浄門

右に明正日あり急湯用英火事等之御立  
火消之亦七之滞之色以計亦之相在乃安以之  
三月

宝永七年

由田守振  
是

新之清門番新番振舞か備き事五振  
相因に白後料御事不及中薬子少く之知候  
且又此門番は勤に守るに付所番相保之用

三波紋

四月

大同元年

是

同文云 薬子少く相保保之用と云候候

同奉

田安清門

竹橋清門

清水清門

右清門より内より先中越前寺若菜寺中  
右側瓦奥向より奥庭御所具は右箇寺居



大目付大浦正光手取目付内後者西丸段人  
小普請清方紅系山段人正光相段人正光目付  
正光人目付以下火事事地正光付正光段人正光  
正光用付正光正光正光正光正光正光正光正光  
正光正光正光正光正光正光正光正光正光正光

六月

一 正徳元年七月正徳中門正徳唱方正徳内信正光  
正光正徳元年六月正光正光正光正光正光正光  
正光正光正光正光正光正光正光正光正光正光

正徳六年

半藏正徳門 竹橋正徳門 田安正徳門

清水正徳門

右古来之道向後正徳正光正光正光正光正光正光  
正光正光正光正光正光正光正光正光正光正光  
一 右付送正光正光正光正光正光正光正光正光  
正光正光正光正光正光正光正光正光正光正光  
正光正光正光正光正光正光正光正光正光正光

六月

享保元年

松平因幡守

大名御書所為法儀目付或百人組  
と刀同心古小料理又、菓子酒未振舞者不  
吉物未及、也、事書及

聞右に左様、類向後一切、為得、有、

作出、以、白、堅、以、細、書、出、番、不、交、致、之、事、以、右、之、

事、度、下、之、中、以、以、之、

八月

阿部伊勢守

同文云

本多伊勢守

同文云 内様田返番

内後右衛門

同文云

板倉近江守

同文云

西丸大守返番

大返番方番

本多遠江守

同文云

享保元申年

向後所、清成之旨、此門當南、  
清通、子、亦、能、此、清目、是、任、色、可、  
相、達、也、

九月

因六七年

内由稀清門法定書

定

一 清門之明、後、知、刻、因、西、刻、因、

不審成、志、之、も、相、改、奉、

一 清代、旨、法、門、之、能、不、法、改、明、之、改、旨、法、改、後、  
仕、以、振、之、旨、一、封、以、若、明、之、不、自、也、以、之、之、修、  
以、留、号、居、申、之、之、旨、一、建、奉、

一 奥向、向、帳、面、之、色、夜、中、之、旨、も、以、以、改、奉、之、  
清、之、旨、相、改、奉、

一 清成、由、以、旨、之、旨、而、高、以、旨、之、旨、之、旨、家、奉、斗、  
之、旨、相、改、奉、也、不、及、旨、之、旨、之、旨、大、事、也、之、旨、  
旨、之、旨、之、旨、之、旨、構、由、清、所、之、旨、之、旨、改、奉、  
一 不、对、小、由、清、所、之、旨、 清、成、之、旨、清、改、奉、之、旨、

人箇中付の修築費用に御出掃の出来は  
とくと取立にさるる人箇中付事

附の出来事と云はれは第一層箇中付事  
取立御の外は取立にさるる人箇中  
間事

一 左の如き不付の修築所は 御成法御成

と云はれは修築所は不付事

一 御城を新し大車且亦凡御城大火は修築所  
不付事 御城を不出火の時御城大火は  
用云と云は相法に不付事 遠く出火に不付

御法に不付事

一 下馬より下を橋迄百連の人数は別紙書付  
と通して相法に不付事

一 下馬茶室新を不付事 噴吐に清まらざる  
中車より速に不付事 双方箇中付事  
中車より速に不付事 病人候人数に不付事  
不付事 箇中付事

一 御城に人落し時早に御城に不付事  
箇中付事

一 御城に人落し時早に御城に不付事

法書所へ之等を他へは茶葉湯水以外  
一切出す所なり

一 火に元大切之事は皆法書人令均亦一切  
振重居りし事なり

一 新書者新法用之候中より新法振  
地より一切清液は同書なり

一 湯門茶法書所を亦破損候事候人等  
中より破損を以て新法用書所中より早速  
とり相違事なり

一 湯門法書所を亦破損候事候人等  
中より破損を以て新法用書所中より早速  
とり相違事なり

芥は根より節より付は但液り余余根根板  
根根葉より法門付中より新法用書所中より早速  
取り相違事なり

一 湯門茶法書所を亦破損候事候人等  
中より破損を以て新法用書所中より早速  
取り相違事なり

附り水ある所根根茶を水掛せ候  
ては付付事なり

一 法書所中法門付中より新法用書所中より早速  
取り相違事なり

右降之堅之相守者也  
 享保六年閏七月

和泉寺  
 山城寺  
 河内寺

大谷法門  
 内膳園門番中  
 為死大谷法門

定

一 冠本法門之役申後園重本法門外刻開  
 一 西刻之因之但々之刻述園重法門之看  
 一 不害成後之之相改事  
 一 番代之在法門之麻不後被明之改以法在  
 一 渡仕之在之常付之若明之不自由之平法  
 一 女之後園之刻之卯之刻述之形之不相在  
 一 但不害成後被之之改之事

一 沸成法は前記の如く高内湯に於て是れ合の時家来斗  
 其候相勤とせ不及是れ船俵俵火事と為  
 之候も是れ合と為候に據て是れ合とせ相法事  
 一 不付、是れ新色、沸成之沸成法とせ  
 以て人箇中付は候限、公用、沸成法、  
 此歩、此の如く、此の取極其上、人箇中  
 付事  
 附り、是れ事、是れ新色、此の取極、人箇中  
 此の如く、此の取極、此の取極、見、此の如く  
 此の如く、人箇中、同、是れ事

一 在宿、是れ不付、不付、是れ新色、沸成、沸成法  
 此の如く、是れ新色、是れ新色、不及事  
 一 沸成、是れ新色、是れ事、且、此の如く、是れ火、此の如く  
 此の如く、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 火防、用、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 此の如く、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 一 是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 病人候、是れ新色、是れ新色、是れ新色、是れ新色、  
 中付事

一 浄土の人畜の時も早に引揚り根をとり  
付事

一 根法役人のあつたとき火取なくして浄土の  
王家の根の凡そ茶葉湯水の外一切を  
根のふき付事

一 火に元大切事とある法為人食地の外一切  
根を根のふき付事

一 新法当所根所用法中より何れ  
りの少くも一切借法とある事

一 浄土茶法書に不破換に根とあり

を破損するは浄土の法中より速くは  
相違事

一 法門法書に不火根をとり去る事あり  
ては付付の但後り余は根根根根小草

多しは法門法中にて是れ日又水屋に  
水石酒根にて付事

一 法門茶法書に根根去る法に法門号  
法取し場を不及中勝手号と述るに  
掃除にて付事

附水おとすに根根去る水の子を根



中付事

一 法知進少礼神者發法乞食一切在

中御〜〜の如し麻馬茶あふ所小宮者

出入もふおろ〜の如し一市事

一 年車名及中地車多し〜〜住米橋

上一切在〜中る如し

但去橋〜通後も不若事

一 近道中法月付才〜後以後遠有石橋

下り中付事

右條〜候下り相事也

享保六年閏七月

和泉寺

山城寺

河内寺

和国念門書中

外橋田

神田橋

常盤橋

馬場先

日比谷

本藏

田安

竹橋

呉服橋

一ツ橋

飛沼橋

数寄屋橋

清水口

雛子橋

右同文書

右ノ定書今度内由曲輪御門書所相成  
以条子有存新由書不入果と望了書と交  
享保六年同七月

和泉寺  
山城寺  
河内寺

淡路御門内中  
馬場曲輪書中

外曲輪

定

- 一 冠本御門中御門至宿條、閑在性来ノ男女  
任得ノ相立ノ但書書成候事ノ以段事
- 一 昔代ノ右ノ同文云
- 一 清成法及前候同以
- 一 不付、右書所迄ノ同以
- 一 左宿ノ右同以
- 一 清城と不并出書不とキ、大率且又未答同以
- 一 以書不迄不同以

- 一 此塔の人形同形
  - 一 縦石段人形同形
  - 一 大元大切の事同形
  - 一 新古者新縦石用同形
  - 一 御門兼古者新外破換同形
  - 一 此口古者不木の根同形
  - 一 此門古者不木の根同形
  - 一 此箇古者中此目付中同形
- 右除て堅て此相とす

享保六年閏七月

幸橋	山下此門	和泉寺
芝口	赤坂	正徳寺
此山谷	牛込	河内寺
此助遠	浅草	虎此門
		市ヶ谷
		小石川

内御曲輪御門番定書

牛車志不及中地車志よりいふは性朱

とて不撓とて一切をくす中万安に但去撓とて  
通しに候と不撓に  
右に候に及内清曲輪に清門番新に後  
以方為候中是に候と

同七月

- 一 新に清門番而る者茶湯水の外一切不撓とて候  
はしと事
- 一 右に清門番而る者清用とて名用と  
物一切備り不中候と事

右に候向とて是に候

内清曲輪清門番に牛車地車揚とて候に  
中万安有候に及定書に有候に候に定書に  
候に及下は地車右の清門番に候に及通  
候に及内清曲輪清門番新とて是に候

八月

享保八年

清門に及番新とて檢文とて候に候

相違、不及封、候、燒、折、了、旨、由、門、之、上、可、  
以、相、違、日

三月

享保十二年

是

一、所、曲、端、内、洲、佃、仕、万、发、乞、合、神、之、共、在、之、  
万、相、違、日、也、其、方、以、当、不、并、过、者、云、云、所、  
以、和、下、之、中、後、日、且、下、馬、在、法、由、端、内、子、  
之、来、去、賣、地、多、集、以、以、当、不、并、过、者、云、云、

之、所、附、多、名、集、振、了、中、付、事、

一、前、之、由、年、車、大、車、地、車、云、所、附、馬、又、之、来、去、  
多、引、附、之、候、相、同、旨、在、候、云、云、振、了、可、  
中、付、旨、所、在、候、中、後、日、以、当、不、并、过、者、云、云、所、  
以、和、下、之、中、後、日、且、下、馬、在、法、由、端、内、子、  
之、来、去、賣、地、多、集、以、以、当、不、并、过、者、云、云、

以、上

十月

元文二年

所、之、所、引、書、之、旨、由、法、

清成、刻之病氣、以是、正年、不及交代  
 相済、以後、通、高、向、病、氣、合、少、不、相、法、時、亦、少、著、  
 了、之、交代、之、意、病、氣、等、言、高、日、難、相、法、  
 時、之、大、事、來、ハ、相、代、之、お、う、之、以、難、著、之、今、年、  
 之、相、法、ハ、又、大、子、内、極、田、之、高、向、北、高、向、  
 病、氣、之、内、極、田、那、高、向、大、子、之、内、極、田、  
 大、子、北、高、向、の、り、以、之、心、以、事、業、  
 但、大、子、内、極、田、為、大、子、清、田、向、人、難、相、法、時、  
 以、月、分、相、法、は、後、只、今、迄、之、意、之、心、以、

一 清田時 清成之時、是、今、迄、之、意、不、以、  
 人、以、事、業、

右、通、之、相、法、也、  
 二月

實保元酉年十月

内極田清田、淡園、由、後、中、人、向、之、内、  
 内極田、之、以、其、智、法、元、正、年、為、之、  
 之、其、智、法、之、極、下、之、勝、之、次、中、人、之、  
 以、其、智、法、之、也、